

## 第354回 昭和大学学士会例会 (医学部会主催)

日時 2019年5月25日(土) 13:00～15:40  
場所 昭和大学4号館401号教室, 402号教室  
担当 耳鼻咽喉科学講座, 外科学講座 (乳腺外科学部門)

### 研究紹介講演1

#### 医学教育の世界的動向と昭和大学のカリキュラム改変

昭和大学医学部医学教育学講座  
泉 美貴

本邦の医学教育は長い間独自の発展を遂げてきたが、現在医学教育のカリキュラムは世界医学教育連盟(WFME)によるグローバルスタンダードをカバーし、医学部は医学教育分野別評価において教育の質を保証する時代となった。世界の医学教育は、医学生が卒業時に備えてほしい能力を定めた「学修成果(コンピテンス)基盤型教育」が主流である。誰もが、自分が授かった教育を学生にも施しがちだが、社会は移り変わった現在では、同じ教授法は時代遅れかもしれない。現代の医学教育は、学問を教えるというより、患者診療にどのように活かされるかという視点が重要である。医療情報が爆発的に増加した現代の教育においては、教員が学生にすべてを教え込むのはもはや不可能であり、授業時間を削ってでも学生同志が“アクティブ・ラーニング(AL)”により、自立的かつ協同的に学ぶ必要がある。教育のツールとしてパソコン、タブレット、スマートフォンなどの端末を利用するICT教育は、物心ついた頃からICTが身近にある学生には馴染み易いであろう。

臨床実習は、今や全国的に約72週間と期間が延長され、内容は学生がチームの一員として診療に参加する、「診療参加型臨床実習」の重要性が増しつつある。実習の最終評価として、Post Clinical Clerkship OSCEが2020年度から卒業要件として正式に全国の医学部で導入される。

本講演では、これからの昭和大学における医学教

育のあるべき姿についてフロアとともに考えていきたい。

### 研究紹介講演2

#### 脳卒中片麻痺患者の歩行障害と活動性に関する研究

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座  
川手 信行

リハビリテーション医学・医療は、人の活動に対して診断・治療を行う唯一の臨床医学であり、疾病や外傷から引き起こされる身体の機能障害、活動制限、参加制約に対して総合的に対応し、障害を克服しより高い社会参加を目指して支援していく診療科である。私は、一貫してリハビリテーション医学に従事し、その一員として診療・研究・教育に邁進してきた。今回は、特に脳卒中片麻痺患者に対して今までに行ってきた研究の一部を紹介する。

脳卒中片麻痺患者は、片麻痺を呈することが多いが、麻痺の性状は末梢神経障害の麻痺とは異なり、筋痙縮によって筋緊張が高まり、共同運動に支配される。その状態が長時間続くと緊張性足趾屈曲や足関節内反尖足などが生じ、歩行障害を呈する場合が多い。また、それに加え、日常の活動性も低下し、不動(廃用)症候群に陥る症例も多い。私たちはリハビリテーション発足当時から、「筋痙縮に対する診断と治療」「活動性の評価と活動性向上のためのリハビリテーション治療戦略」をテーマに研究を行ってきた。

今回は、「筋痙縮に対する診断と治療」の研究の一部である①筋痙縮によってもたらされる足趾屈曲の防止のためのシリコンゴムを利用したインヒビターバーの研究、②筋痙縮に対するボツリヌス療法の有用性の研究、③ボツリヌス療法が脳卒中片麻痺

患者の歩行に及ぼす影響についてその概略を報告すると共に、「活動性の評価と活動性向上のためのリハビリテーション治療戦略」として、④脳卒中片麻痺患者の日常での活動を客観的に診断するための研究や⑤その活動性を向上させるための新しいリハビリテーション治療の構築とその効果の研究について概略を報告する。

「筋痙縮に対する診断と治療」「活動性の評価と活動性向上のためのリハビリテーション治療戦略」どちらも脳卒中片麻痺患者に対する新しいリハビリテーション治療戦略であり、今後のリハビリテーション治療を牽引していく方向性の一翼を担う研究である。

今回は脳卒中片麻痺患者の研究の一部を紹介したが、その他にも在宅高次脳機能障害患者の地域活動の研究、音楽療法についての研究、ポストポリオに関する研究、摂食嚥下および栄養に関する研究など医局員が一丸となって取り組んでおり、一定の成果を上げている。

今後も、疾病や外傷から生じるさまざまな障害についてその予防を含めて、診断・治療に関わる臨床研究を行い、リハビリテーション医学のエビデンスの構築していきたい。

#### 一般演題

### 1. マウス巣状分節性糸球体硬化症モデルにおける NG2 関連細胞の検討

昭和大学医学部内科学講座（腎臓内科学部門）  
鈴木 泰平

【発表内容掲載論文】

*Am J Physiol Renal Physiol.* 2018;315:F1149-F1164.

### 2. 肝癌細胞による自然免疫逃避機構を標的とした新規免疫療法の開発

昭和大学医学部内科学講座（消化器内科学部門）  
荒井 潤

【発表内容掲載論文】

*Int J Cancer.* 2018;143:2575-2583.

### 3. ラット関節リウマチモデルに対するワイン加工残渣の有効性の検討

昭和大学医学部生理学講座（生体制御学部門）  
塚田 愛, 奥茂 敬恭  
池本 英志, 砂川 正隆

【発表内容掲載論文】

投稿中

### 4. オイゲノールによる呼吸リズム抑制の神経機構

昭和大学大学院医学研究科生理系生理学（生体調節機能学分野）専攻  
小谷 さゆみ

昭和大学医学部生理学講座（生体調節機能学部門）  
鬼丸 洋, 泉崎 雅彦

【発表内容掲載論文】

*Pflugers Arch.* 2018;470:385-394.

### 5. 若年健常成人男性における努力呼吸での広背筋下部線維筋厚左右比率と骨盤側方挙上角度および呼吸機能の関連性

昭和大学大学院医学研究科生理系生理学（生体調節機能学分野）専攻

茂原 亜由美

昭和大学医学部生理学講座（生体調節機能学部門）  
本間 友貴, 平山 哲郎  
泉崎 雅彦

【発表内容掲載論文】

理療科. 2019;34:467-472.

6. 実地臨床における遷延性・慢性咳嗽診療の現状と課題

昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（呼吸器アレルギー内科学分野）専攻

柿内 佑介<sup>1)</sup>

- <sup>1)</sup> 昭和大学藤が丘病院呼吸器内科  
<sup>2)</sup> 昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター  
<sup>3)</sup> 昭和大学病院呼吸器・アレルギー内科

松倉 聡<sup>2)</sup>, 清水 翔平<sup>1)</sup>  
張 秀一<sup>1)</sup>, 藤嶋 彬<sup>1)</sup>  
刑部 優希<sup>1)</sup>, 関口 綾香<sup>1)</sup>  
井上 大輔<sup>1)</sup>, 船木 俊孝<sup>1)</sup>  
山崎 洋平<sup>1)</sup>, 楯野 英胤<sup>1)</sup>  
加藤 栄助<sup>1)</sup>, 林 誠<sup>1)</sup>  
渡部 良雄<sup>1,3)</sup>, 山口 史博<sup>1,3)</sup>  
横江 琢也<sup>1,3)</sup>, 相良 博典<sup>3)</sup>  
鹿間 裕介<sup>1)</sup>

【発表内容掲載論文】

アレルギー. 2018;67:931-937.

7. シミュレーションソフトウェア Body Interact<sup>®</sup>の臨床実習への導入  
～*i-m-education*～

- <sup>1)</sup> 昭和大学医学部内科学講座（呼吸器アレルギー内科学部門）  
<sup>2)</sup> 昭和大学医学部医学教育学講座  
鈴木慎太郎<sup>1)</sup>, 内田 嘉隆<sup>1)</sup>  
木村 友之<sup>1)</sup>, 田中 明彦<sup>1)</sup>  
相良 博典<sup>1)</sup>, 土屋 静馬<sup>2)</sup>

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

8. 術後に発症する低酸素血症に対する術中因子の検討—晶質液投与量の影響

昭和大学大学院医学研究科外科系麻酔科学専攻  
坂本 篤紀<sup>1)</sup>

- <sup>1)</sup> 昭和大学横浜市北部病院麻酔科  
<sup>2)</sup> 昭和大学横浜市北部病院歯科麻酔科  
<sup>3)</sup> 昭和大学医学部麻酔科学講座  
<sup>4)</sup> 昭和大学歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門

増田 陸雄<sup>2)</sup>, 小坂 誠<sup>1)</sup>  
信太 賢治<sup>1)</sup>, 大嶽 浩司<sup>3)</sup>  
飯島 毅彦<sup>4)</sup>

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

9. 虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する広範後尖拡大術

—拡大された後尖は前尖に寄り添う—

昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（循環器内科学分野）専攻

池田 尚子<sup>1)</sup>

- <sup>1)</sup> 昭和大学江東豊洲病院循環器センター循環器内科  
<sup>2)</sup> 昭和大学江東豊洲病院循環器センター心臓血管外科  
<sup>3)</sup> 昭和大学藤が丘病院循環器内科  
山口 裕己<sup>2)</sup>, 高垣 昌巳<sup>2)</sup>  
光山 晋一<sup>2)</sup>, 江波戸美緒<sup>3)</sup>  
丹野 郁<sup>1)</sup>, 中村 裕昌<sup>2)</sup>  
門脇 輔<sup>2)</sup>, 上野 洋資<sup>2)</sup>  
片岡 紘士<sup>2)</sup>, 内田 孝紀<sup>2)</sup>  
青木 智之<sup>2)</sup>

【発表内容掲載論文】

*Circ J.* 2019;83:567-575.

10. 十全大補湯はペリオスチン分泌低下を介して B16 悪性黒色腫細胞肺転移を抑制する

昭和大学大学院医学研究科生理系生理学（生体制御学分野）専攻

山崎 香奈<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 昭和大学医学部生理学講座（生体制御学部門）

<sup>2)</sup> 昭和大学歯学部口腔解剖学講座

石川慎太郎<sup>2)</sup>，手塚 千明<sup>1)</sup>

砂川 正隆<sup>1)</sup>

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

11. 慢性疲労症候群モデルマウスにおける十全大補湯の効果

昭和大学大学院医学研究科生理系生理学（生体制御学分野）専攻

手塚 千明<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 昭和大学医学部生理学講座（生体制御学部門）

<sup>2)</sup> 昭和大学歯学部口腔解剖学講座

石川慎太郎<sup>2)</sup>，高橋 香奈<sup>1)</sup>

砂川 正隆<sup>1)</sup>

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

12. トリプルネガティブ乳癌に対する術前化学療法の治療効果と乳房超音波による腫瘍内部エコー輝度変化の検討

昭和大学大学院医学研究科外科系外科学（乳腺外科学分野）専攻

松田 直子<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 聖路加国際病院乳腺外科

<sup>2)</sup> 昭和大学医学部外科学講座（乳腺外科学部門）

中村 清吾<sup>2)</sup>

【発表内容掲載論文】

*Breast Cancer*. 2018;25:43-49.

13. 近赤外線蛍光内視鏡イメージングシステムを応用した次世代の大腸癌術前マーキング

昭和大学大学院医学研究科外科系外科学（消化器一般外科学分野）専攻

小沢 慶彰

昭和大学医学部外科学講座（消化器一般外科学部門）

村上 雅彦，渡辺 誠

青木 武士

【発表内容掲載論文】

*Asian J Endosc Surg*. 2016;9:340-343.

14. 昭和大学血液内科における急性骨髄性白血病の後方視的解析

昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（血液内科学分野）専攻

柳沢 孝次

昭和大学医学部内科学講座（血液内科学部門）

服部 憲路，綿貫めぐみ

藤原 峻，荒井 奈々

塚本 裕之，齋藤 文護

中牧 剛

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

15. 十二指腸型濾胞性リンパ腫の長期的経過観察における組織学的転化の発生に関する病理学的解析

昭和大学大学院医学研究科病理系臨床病理診断学専攻

村井 聡<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 昭和大学医学部臨床病理診断学講座

<sup>2)</sup> 昭和大学医学部内科学講座（血液内科学部門）

塩沢 英輔<sup>1)</sup>，瀧本 雅文<sup>1)</sup>

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定